

総括

■ 種別

高度・専門機能「救急医療・災害時の医療」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および9月16日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「救急医療・災害時の医療」 認定

■ 改善要望事項

高度・専門機能「救急医療・災害時の医療」
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は、キリスト教精神の「隣人愛」を理念に掲げ、開設以降は着実な体制強化と増改築、包括的な医療体制の充実などに取り組み、現在は県内最大の病床数を擁するまでに発展している。病院全体を挙げて基本理念・経営方針を貫いており、ドクターヘリ事業に加え、現在は高度救命救急センターとして静岡県西部医療圏内、浜松市北西部の基幹病院として、地域に求められている救急医療の現状を理解して発展を続けている。今後も組織一丸となって病院機能の維持・充実に図り、地域住民や多くの医療機関からの多大なる信頼と期待に応えながら、貴院が益々発展されることを祈念する。

2. 地域の救急医療を支える効果的な仕組み

病院の理念、経営方針に従い、提供する医療と果たすべき機能を明確にした理念を設定し運営している。そのうえで地域の医師会・医療機関・行政・消防機関等との「顔の見える関係」を通して、連携関係の構築と機能充実に向けた努力がなされ、地域住民にも受け入れられている。救急医療統計を把握し、救命救急センター運営会議において周知と検討を行い、院内外の連携体制の維持と充実に役立てている。地域の医療機関ならびに消防などの関係組織への業務上の研修や実習をはじめ、業務外での蘇生教育・外傷診療教育にも積極的に取り組んでいる。さらに、小中学校などへの救急啓発活動にも努めていることは評価できる。

救急医療の組織体制は、病院を挙げて救急医療体制の充実に努力しているが、今後は救命救急センターが病院内の主要な部門として継続的に稼働できるよう、指揮命令系統や組織図の具現化などさらなる体制強化を期待したい。救急部門に必要な

人員は確保され、交代制や当直制などを取り入れて質の高い医療を提供する体制が整備されている。なお、医師の労務時間管理の体制については、一層の検討を期待したい。救急医療を維持するための診療支援体制、必要な施設・設備や病床運営をはじめとした環境の整備は維持されており、評価できる。

3. 救急医療への適切な対応

高度救命救急センターとして重篤な患者の受け入れとともに二次救急、ER 型救急としてウォークイン患者にも対応している。緊急度・重症度に応じた適切な対応がなされ、検査や診断を迅速に進めるための体制も確保されている。病診連携が円滑に運用され、カンファレンス等を通して MSW の介入があり、家庭復帰、社会復帰に繋げている。救急患者の手術対応は各診療科間の円滑な連携の下、麻酔科医、手術室看護師は休日・時間外もオンコール体制で 24 時間対応している。各種虐待が疑われる患者や身元不明患者、感染患者などへの対応もマニュアルが整備され適切に行われている。超急性期からのリハビリテーションが積極的に実施され、栄養評価も同時に行うことで早期リハビリテーションの効果を高めている。また、回復期リハビリテーションとの連携も適切に行われ、高度救命救急センターの機能発揮に貢献しており高く評価できる。診療・看護記録は「診療記録マニュアル」に則って記載され、紙媒体記録も電子認証システムでリアルタイムな閲覧が可能となっており適切である。なお、今後は転棟時のサマリー作成や説明と同意における同席ルールについて検討を期待したい。患者ならびにその家族への配慮や支援の体制は適切である。

4. 救急部門の質改善に向けた取り組み

救急医療に関する教育・研修は、BLS、ICLS 等の教育研修の開催、学会発表への積極的な取り組み、人材育成に向けた支援体制など、病院全体を挙げて取り組んでおり適切である。院内発生のコードブルー事例について検討を行い、必要時には関係部署にフィードバックしている。また、院内死亡例は全て記録監査を実施するとともに多職種カンファレンスで事例検討を行っている。さらに、多数のクリニカルパスの用意とマスターコードによる管理、活発な CPC など、診療の質向上に向けて努力がなされている。救急科の臨床指標を公表するほか、疾病登録活動として外傷データバンクへの登録、熱中症症例登録活動を行い、データの検証も実施するなど、救急医療の質改善に向けたデータ活用がなされている。

5. 災害時の適切な対応のための体制

災害時対応マニュアルが整備され、毎年見直しされている。災害訓練は地域住民も見学可能とし、住民一体となった訓練となっている。遠隔地での大規模災害への職員派遣体制が整備され、派遣の際には身分保証が確保されている。また、災害現場への出動時に有効な支援が行えるよう、各種訓練や研修等に職員を積極的に派遣する取り組みもある。多数の派遣実績もあり、病院の災害時医療への認識の高さがうかがえ評価できる。多数傷病者が発生した時に備えてマニュアルが整備され、ト

リアージをはじめとして円滑な災害時医療を提供できる仕組みが確立している。また、災害レベルに応じた機能存続計画が策定されて訓練も行われている。外部団体との支援協定を結んで確実な備蓄体制を確保している。

化学災害やテロ等を想定した特殊災害に対応するマニュアルを整備し、行政や消防と協力して大規模訓練を実施している。除染や防護、二次災害予防等にも適切に配慮されている。

1 地域の救急医療を支える効果的な仕組み

評価判定結果

1.1	救急部門の地域における役割、基本方針と連携体制	
1.1.1	地域における役割を踏まえた救急部門の運営理念・運営方針を明確にしている	Ⅱ
1.1.2	地域における役割と連携体制が適切に定められている	Ⅱ
1.1.3	地域における役割と連携体制の改善に努めている	Ⅱ
1.1.4	地域および他施設の医療従事者・救急隊員などの教育に関与している	Ⅱ
1.2	救急部門の体制の確立	
1.2.1	救急医療を提供するための組織体制が確立している	Ⅲ
1.2.2	救急部門に必要な人員が確保されている	Ⅲ
1.2.3	救急患者の記録入力支援体制が確立している	Ⅱ
1.2.4	救急医療に必要な施設・設備が整備されている	Ⅱ
1.2.5	救急患者を受け入れる病床が確保されている	Ⅱ

2 救急患者への適切な対応

評価判定結果

2.1	チーム医療による診療・ケアの実践	
2.1.1	救急患者を適切に受け入れている	Ⅱ
2.1.2	救急患者受け入れ後の対応が適切に行われている	Ⅱ
2.1.3	緊急時の検査・診断に迅速に対応している	Ⅱ
2.1.4	救急患者の手術を適切に実施している	Ⅱ
2.1.5	救急患者の受け入れや対応における危機管理が適切に行われている	Ⅱ
2.1.6	救急部門において早期のリハビリテーションを適切に行っている	I
2.1.7	救急医療の記録を適切に記載している	Ⅲ
2.1.8	患者・家族への配慮や指導がなされている	Ⅱ

3 救急部門の質改善に向けた取り組み

評価判定結果

3.1 質改善に向けた取り組み

3.1.1	救急医療に関する教育・研修を行っている	Ⅱ
3.1.2	診療の質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
3.1.3	救急医療の質改善に必要なデータを活用している	Ⅱ

4 災害時の適切な対応のための体制

評価判定結果

4.1 災害時の医療支援と院内受け入れ対応のための体制

4.1.1	地域における役割を踏まえた災害時の対応に関する運営理念・運営方針を明確にしている	Ⅱ
-------	--	---

4.1.2	多数傷病者発生時の院外派遣体制が整備されている	Ⅱ
-------	-------------------------	---

4.1.3	多数傷病者発生時の院内受け入れ体制が整備されている	Ⅱ
-------	---------------------------	---

4.2 特殊災害への対応

4.2.1	病院の指定された役割分担に基づく特殊災害への対応のための体制が整備されている	Ⅱ
-------	--	---